

平成25年度国庫補助事業：中央アジア地域等貿易投資促進事業
 中央アジア投資環境整備・ビジネス振興事業
 「日本トルクメニスタン投資環境整備ネットワーク業務調整」出張
 実施報告書

2013年8月
 一般社団法人 ロシアNIS貿易会

1. 課題および目的

中央アジア投資環境整備・ビジネス振興事業は、石油・ガス・ウラン等、世界有数のエネルギー資源埋蔵量を擁し、かつ地政学的に重要な位置にある中央アジア等諸国との経済関係拡大がわが国にとって重要であるとの認識に立ち、同諸国における投資環境整備と、日本との民間ビジネス振興を課題に一連の事業を行う。日本と中央アジア諸国双方における貿易・投資関係省庁・機関・組織及び民間企業間の活動調整と交流強化により、相互の貿易・投資振興を図り、日本と中央アジア各国との間に、日本側・現地側双方に事務所を置く「投資環境整備ネットワーク」を順次設立、関係機関間の情報交換円滑化、両国企業に対する情報強化、企業間交流強化・新規参入企業の発掘、投資関連サービスの強化等を行い、もって両国間のビジネス分野拡大とプレイヤーの増加を目指すことを目的とする。

今回出張では、モスクワ・ジャパンプラブによる原田親仁・駐トルクメニスタン日本国特命全権大使トルクメニスタン視察同行団の一員として現地を訪問、前年度に設立した「日本トルクメニスタン投資環境整備ネットワーク」について現地関係機関と業務調整を行った。特に、9月に予定されるベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領訪日時のビジネス関連行事の実施を同ネットワークの枠組みにおいて支援することが想定されること、経済発展省、トルクメニスタン産業家・企業家同盟等と、これに関する打ち合わせを行った。

2. 旅行日程

期間：平成25年8月27日（火）～8月30日（金）4日間

3. 派遣者氏名

中居 孝文 （一社）ロシアNIS貿易会 モスクワ事務所 所長

4. 現地日程

	日時		日程	宿泊地
1	8/27(火)	23:40	モスクワ (DME) 発 (T5 710)	機中 ／アシガバード
2	8/28(水)	04:25 PM	アシガバード着 ◇市内視察、ビジネスフォーラム準備打ち合わせ等	アシガバード
3	8/29(木)	14:00 15:30	◇ゴチュイエフ・トルクメニスタン副首相面談 ◇日本・トルクメニスタンビジネスフォーラム	アシガバード
4	8/30(金)	06:30 09:45	アシガバード発 (S7 970) モスクワ (DME) 着	

5. 日本・トルクメニスタンビジネスフォーラム概要

日時： 2013年8月29日(木)15:30～17:30

出席者： 日・トルクメン合わせて約118名(日本側46名、トルクメン側72名)

【主要内容】※掲載用、一部抜粋

①ホジャムハメドフ副首相

○トルクメニスタンには炭化水素やその他鉱物等の豊かな資源が存在し、日本には近代的技術と金融資源がある。これらを組み合わせて、相互補完の良い関係を構築できる。

○トルクメニスタン経済の課題は、①産業施設の近代化、②世界市場への統合、③投資活動の活性化などにある。また、大統領によって産業発展国家プログラムが採択されており、同プログラムに沿って、①エネルギー、②輸送・通信、③建設、④加工・製造業の発展を促進していく予定。

○今回のベルディムハメドフ大統領の訪日時には、政府間及び企業間で一連の文書署名が予定されている。

○民間セクターの発展に努力している。食品加工業や建設業では、民間企業が育ってきている。

○インフラに関しては、アシガバットの住宅、道路、学校等を整備。これらの工事は、主にトルクメニスタンの民間建設会社によって遂行されている。

②原田大使

○今回は、ベルディムハメドフ大統領訪日を直前に控え、訪日日程等の最終的な確認のため、当地を訪問した。

○本日午前のベルディムハメドフ大統領との面談では、両国の間に戦略的パートナーシップを構築すること、日トルクメニスタン関係を新たな段階に引き上げていくことで意見が一致。

○日本とトルクメニスタンの関係は、急速に発展しており、2012年にトルクメニスタンを訪問した企業は前年比で5倍増。在トルクメニスタン日本大使館では、日本企業に対するサポート業務を行っているが、2013年8月時点で79件の支援を行った。

○大使館としては、今後も両国のビジネスと協力案件の拡大のために努力していく所存。

③ハリロフ石油ガス鉱物資源大臣

○トルクメニスタンの石油・ガス分野には、中国、マレーシアをはじめ世界各国から投資家が参入している。今後は、石油精製、石油化学、ガス化学の分野に投資を誘致していきたい。具体的には、ポリプロピレン、ポリエチレン、合成ゴム、各種化学肥料の生産等。

⑥アマノフ国営コンツェルン「トルクメンヒミア」局長

○化学工業の近代化のために、外国投資を誘致していきたい。トルクメニスタンの化学工業は、国内需要を完全に満たしているだけでなく、輸出もしており、今後も輸出を強化していきたい。

○バルカン州ガラバガスにおいて窒素肥料工場(年産50万t)の建設が今年から始まる。日、米、欧の企業が参加予定。

○バルカン州ウズボイにおけるヨード・塩素工場の建設には、トルコ企業が設計・建設で参加。

⑦アタエフ経営組合「ハリス」代表

○大統領プログラムのおかげで、トルクメニスタンの民間セクターが発展している。現在、工業生産(ただし、石油ガス関連を除く)の45%、小売・卸売の27%を民間セクターが占めている。

○今後、工業分野では、建材、消費財、家具、食品加工(ソーセージ、乳製品)等で重点的に民間セクターによる生産を増強していき、輸入代替を図る。また将来的には輸出もしていく。

○それには、生産基盤の強化が必要であり、近代設備の導入という面で日本企業と協力していきたい。

以上